



総務 財産取得の件 (災害用自走式トイレカー)

災害時のトイレ環境の整備を図るため、災害用自走式トイレカーを取得する。規格は、個室5部屋(男性用2、女性用2、バリアフリー1)、オストメイト対応、4輪駆動のオートマチック車、乗車定員は3名、契約金額は、3千80万円となる。



(主な質疑と答弁)

問：機能の詳細と災害時の他自治体への派遣について。

答：トイレは水洗式であり、約400回の使用が可能。汚物タンクが3分の2以上になるとアラームで知らせる仕組みである。内閣府の災害対応車両登録制度への登録や災害時相互応援協定などによる被災地への迅速な支援が可能となる。

文教福祉 学校体育館エアコン 整備事業の前倒し

来年度に予定していた警戒レベル4で開設される避難所の小中学校13校の体育館への大型スポットエアコン整備事業を前倒しして実施する。また、レベル3で開設される避難所の小中学校10校については、今年度、既に整備を進めている。

(主な質疑と答弁)

問：エアコンの機能と13校の内訳は。

答：エアコンは、冷房と暖房の両方が使用可能。設置する学校の内訳は以下のとおり。

小学校(8校)：三河台、南向台、森合、笹谷、湯野、平田、野田、庭塚
中学校(5校)：渡利、蓬萊、信陵、北信、信夫

経済民生 飯坂温泉観光会館施設 改修事業

令和8年6月にパルセいいざかでの開催が決定している国際会議をはじめ、様々なコンベンションに対応できるよう受け入れ環境の整備を行う。

(主な質疑と答弁)

問：今回の改修を契機にさらなる誘致活動を行うとのことだが、パルセいいざかと今後整備予定の福島駅前交流・集客拠点施設が競合することにならないか。

答：パルセいいざかは、温泉地であることが強みであり、福島駅前交流・集客拠点施設は、駅前で交通の利便性が良いことなどが強みである。それぞれの施設の特長をいかすことで、主催者の様々な要望に応じることができ、誘致拡大に繋がると考える。

建設水道 もにわの湯設備更新

開館から25年が経過した、もにわの湯について、設備の老朽化による故障やレジオネラ属菌の検出などが発生していることから、施設の長寿命化と衛生面における安全性の確保を図るため、ろ過器の更新を行う。

(主な質疑と答弁)

問：ろ過器とボイラーの両方を更新するのか。また、レジオネラ属菌の発生件数と設備更新の理由について伺う。

答：いずれも更新予定だが、今年度は、ろ過器のみの更新となる。レジオネラ属菌の発生件数は、令和元年度と令和2年度の計2件で、それ以降の検出は確認されていない。設備更新の理由は、ろ過器の耐用年数を鑑み、今後の発生を抑制するためのもの。

